学校だより

令和３年９月２７日
尼崎市立園田小学校
校 長 永所　孝章

令和３年度全国学力･学習状況調査結果より

先日、今年度の全国学力･学習状況調査の結果報告書が文科省から届きました。質問紙（アンケート）と学力とのクロス分析で特に興味深い項目、中でもご家庭にも是非知っていただきたいものを３つ紹介します。

まずは**家庭の蔵書について**です。蔵書数によって、国語も算数も平均正答率にこれ程の差が出ています。一概に蔵書数だけでは言えませんが、身近に手に取る本があるというのは、本を通しての経験を増やすことにつながっていると考えます。また、活字を読むことは、理解力や表現力等を大きく伸ばす要素のひとつです。脳は視覚から取り入れた情報を脳の中で消化しながら必要だと判断したものを記憶していきます。これは読解力を上げることにもつながるのではないでしょうか。

あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。	平均正答率(%)	
	国語	算数
０～　１０冊	53.8	58.7
１１～　２５冊	59.7	64.6
２６～１００冊	65.8	71.4
１０１～２００冊	68.9	74.5
２０１～５００冊	71.5	77.4
５０１冊以上	71.2	76.9

次に、**１日当たりのゲーム等の時間**です。昔と比べ遊びも大きく変わりました。公園や家の前で友達と体を動かして遊んでいたのが、今では、個人でゲームをしたり、オンライン上で友達と遊んだりする子が増えてきました。１日２４時間の内で４時間をゲームに費やすということは、それ以外にかける時間が減っているということです。また、向き合っているものは架空のものや一方的に受け取るものが多いです。ゲーム等から学ぶこともあるとは思いますが、使用時間については考えていかないといけないですね。

普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか。	平均正答率(%)	
	国語	算数
４時間以上	54.8	60.7
３時間以上、４時間より少ない	59.7	65.5
２時間以上、３時間より少ない	63.4	69.2
１時間以上、２時間より少ない	67.3	72.9
１時間より少ない	71.9	76.8
全くしない	74.7	78.7

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。	平均正答率(%)	
	国語	算数
当てはまる	69.2	74.3
どちらかといえば、当てはまる	65.2	70.7
どちらかといえば、当てはまらない	58.8	64.7
当てはまらない	52.5	57.5

最後に、**話し合う活動について**です。これは、考えたことやめあて・課題等について、言葉を通してみんなで考える活動です。自分の考えたことを自分の言葉で発表する。また、友達の発言（言葉）を頭の中にインプットし、自分の中で考え、さらに自分の言葉でアウトプットする。この過程の中では、思考・判断等が常に行われています。どのような言葉が適切か、言葉の持つよさや言語感覚もこの活動を通して磨かれます。教室という学びの場において、子どもたちは失敗しながらも、少しずつではありますが、伝えることの大切さ（言葉）や友達の考えを聞く大切さを学んでいます。そして、その話に共感してもらったり、相手を認めたり、褒めてもらったりしているか否かが**自己肯定感**（自分は価値のある人間だと感じること）や**他者理**

解につながっていくのだと考えます。

自己肯定感を引き出し伸ばしていく指導は、学校教育では重要な柱のひとつです。同時に多様性の社会を形成していくためには、相手の考えや立場を理解していくことも大切です。

新学習指導要領が施行され２年目。授業のテーマとして挙げられているのが「主体的、対話的で深い学び」です。これは取り立てて目新しいものでもなく、これまでも実践してきた学びですが、より重要視されています。自己肯定感を伸ばし、他者理解をも育むために、家庭や地域と一体となって今後も子どもたちの教育に取り組んでいきたいです。

ここで、今年度の全国学力テストの問題を。子どもたちは結構難しいことに取り組んでいるんです。

文部科学省ホームページをご覧下さい。